



TITLE:

外国の大学図書館  
NORTHWESTERN大学の図書館

AUTHOR(S):

---

CITATION:

外国の大学図書館 NORTHWESTERN大学の図書館. 静脩 1967, 4(3): 3-4

ISSUE DATE:

1967-09

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36414>

RIGHT:

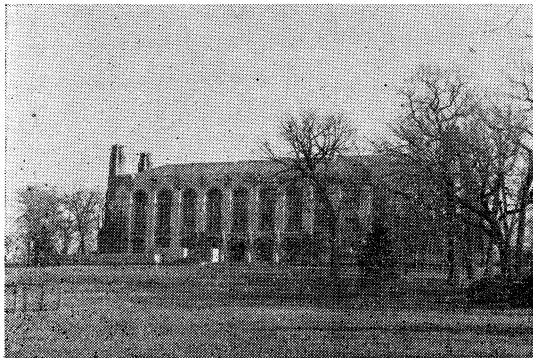
ずねられ、即座に、どの本棚の何段目のどの辺にありますとお答え出来るようになったのである。その時感じたことは、まず、当然のことながら、先生の御蔵書が実に多方面にわたり豊富なことであるが、しかもそれが先生も仰有るようにすべて実用的な普通の本ばかりであり、一冊一冊が隅々まで丹念に目を通されている証拠に、しおりの紙が沢山挿み込まれ、方々に御自筆の墨、朱、インキ、鉛筆など各種の書き込みがなされており、決してソンでおかれたものでなく、常に使用されていることが、なまなましく感じられるものばかりであることだった。これは、学者の蔵書としては別に不思議ではないはずであるが、特に国文学関係の学者の中には、珍本を蒐めることに夢中で、それがただちに学問であるかのように錯覚している人も少なくないのに思い比べて、深い感銘を覚えたのである。

それから数年、戦争も終り、先生の御蔵書も京都の町と共に無事残ったが、新制大学発足に伴い、はからずも私が勤めることになった大阪市立大学の図書館を充実するために、先生の御蔵書の幾分を御割愛頂ければとお願いしたところ、二つ返事で御快諾下さったのである。現在、その図書館に、新村文庫と名づけられて、ながく先生の学徳を偲ぶよすがとして、蔵されている数千冊の本がこれである。  
(文学部教授)

本館の第3代館長として明治44年より昭和11年まで、26年の長きにわたり、図書館の発展をみちびかれた名誉教授新村 出先生は、去る8月17日午後7時、90才の長寿を全うされ逝去されました。ここに、生前の先生を偲ぶ意味で、浜田教授に御寄稿を頂きました。

## 外国の大学図書館

### NORTHWESTERN 大学の図書館



新 宮 秀 夫

ノースウェスタン大学はシカゴの北約20キロほどのミンガン湖畔のエバンストンという町にあります。創立は1851年で現在学生数は約1万人です。主な図書館は中央図書館、医学部図書館と理工系図書館の3つで、もちろん中央図書館が一番大きいのですが、建物がすでに古く、狭

くなったので、現在数千万ドルという予算で新館を旧図書館の裏に建てているところです。蔵書数は知りませんが、旧館の規模は大体京都大学の中央図書館位でした。現在は書庫には普通入れないことになっていますが、新館ができるとすべて開架式になるようです。医学部はシカゴにあります。図書館は十数階建のビルの一階の一部にあり、蔵書が多いことが自慢だったようです。ビルそのものが新しく、書庫も閲覧室も余裕が充分あって気持ちよい雰囲気でした。開架式ですが、医学部関係の者以外は特別の許可がないと図書館に入ることはできません。理工系の学科は全部ひとつづきの建物に入っており、図書館が一番上の四階の一部にあります。約300人入れる閲覧室と四階ある書庫があり、書庫には自由に入ることがで

きます。書庫の各階に CARREL といってひとつずつ仕切りをして机と椅子が約20ずつ置いてありちょっとした調べものは書架から書物を抜いてその場で用を足すことができます。大学院学生と職員は図書館の鍵を持つことができるので、夜11時に閉館になったあとも、この CARREL で文字通り書物に埋って頑張っている学生もいます。一般図書の貸出し期間は4週間で、延期するのを忘れると罰金という規則になっています。新刊書と雑誌は貸出し禁止で、したがって文献調べの際求める VOLUME が抜けているため、それを探し回るという手間はないわけです。利用上特に便利だと感じたのは、自分の専門以外の雑誌や書物も、理工系のものではすぐに利用できることで、これは工学部、理学部のしかも学科ごとに建物が分れ、それぞれの小図書館を持っている京都大学の場合と対照的でした。

以上簡単ですが気のついたことのみ書いてみました。利用したのはほとんど理工系の図書館のみでしたが、3年間利用した感想を最後に述べますと、いつでも自分の好きな時間に気軽に利用できたこと、求める本があるべき場所にいつでもあったことなどのため非常に便利だったということです。

(工学部教官)

## 告 知 板

### ——参考図書室の拡充と

#### 目録カード室の移転について——

本館では参考図書室の座席数と参考図書の拡充整備を図るため、部屋の改装を行なって来たが、このほど工事を完了した。これにより参考図書室はスペースにおいて約1倍半に拡大された。参考図書資料群も漸次充実してゆく計画であるから今後利用の便宜が一段と向上するものと期待される。

またこの参考図書室の拡充に伴ない、従来の閲覧用目録カード室が移転し、次のように整理統合されたのでご承知いただきたい。

- A 全学総合目録 (1階カード室)
  - 1 全学和漢書・書名目録
  - 2 全学和漢書・著者名目録
  - 3 全学洋書・著者名目録
- B 分類目録 (2階閲覧室前)
  - 1 本館和漢書・分類目録
  - 2 法経和漢書・分類目録
  - 3 本館洋書・分類目録

## 資 料

### 教官文庫新着紹介 (7月—8月御寄贈の分)

- 「社会思想史」出口勇蔵著 (経済学部教授) 筑摩書房 昭42刊 309 P
- 「経済生活を動かすもの」鎌倉 昇著 (経済学部助教授) 講談社 昭42刊 191 P
- 「生体量子化学」福井謙一編 (工学部教授) 共立出版 昭42刊 450 P
- 「内縁の研究」太田武男著 (人文科学研究所助教授) 有斐閣 昭40刊 955 P
- 「文化人類学」姫岡 勤著 (教育学部教授) ミネルヴァ書房 昭42刊 236 P